年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（2･3学年用） 教科　理科　科目　生物基礎

教　科：理科　　科　目：生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第 2･3 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（ 新編　生物基礎（東京書籍）　）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】 自然の事象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察や実験に関係する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的意識を持って実験、観察を通して科学的に探求する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に対する関心を高め、主体的に探求する態度を養う。

科目　生物基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察や実験に関係する技能を身に付ける。	目的意識を持って実験、観察を通して科学的に探求する力を養う。	生物や生物現象に対する関心を高め、主体的に探求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物の特徴について、生物の多様性と共通性のことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の共通性と多様性を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の多様性や共通性に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	生物の多様性と共通性 ・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本劇な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 生物の共通性と多様性について、科学的に考察し表現するなど科学的に探求している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったいり振り返った五するなど、科学的に探求しようとしている。	○	○	○	10
	B 生物とエネルギー 【知識及び技能】 生物の特徴について、生物とエネルギーをのことを理解するとともに、観察実験などにかんする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探求し、生物とエネルギーについて見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物とエネルギーに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	生物とエネルギー ・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 生物とエネルギーについて問題を見出し、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探求しようとしている。	○	○	○	11
	C 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAのことを理解するとともに、それらの観察や実験に関する知識技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて探求し、遺伝情報を担う物質としてのDNAをみいだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とそのはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。	遺伝情報とDNA ・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 遺伝子とその働きについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 遺伝情報とDNAについて問題をみいだし、科学的に考察し表現していうる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とDNAにかんする事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探求しようとしている。	○	○	○	10
	D 遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】 遺伝子とその働きについて、遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて探求し、遺伝情報とタンパク質の合成との関係を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	遺伝情報とタンパク質の合成 ・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 遺伝子とその働きについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 遺伝情報とタンパク質の合成について問題をみいだし見通しを持って観察、実験を行い科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象にすすんで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○			1
2学期	E ヒトの体を調節するしくみ 【知識及び技能】 神経系と内分泌系による調節で、情報伝達のことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 神経系と内分泌系による調節について探求し、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の伝達に関する事物・現象に主体的にかかわり、、科学的に探求しようとする態度を養う。	・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達や基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 情報の伝達について問題を見出し科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○			1
	F 免疫のはたらき 【知識及び技能】 免疫について、免疫の働きのことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫について観察、実験などを通して探求し、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫の働きに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度を養う。	・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 免疫について、免疫の働きや基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 免疫の働きについて、問題を見通しをもって科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫の働きに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○			1
3学期	G 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 植生と遷移、生態系の保全や生物の多様性、バランスについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 植生と遷移、生態系の保全や生物の多様性、バランスについて科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 植生と遷移、生態系の保全や生物の多様性、バランスに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度を養う。	・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 植生と遷移、生態系の保全や生物の多様性、バランスについて理解している。 【思考・判断・表現】 植生と遷移、生態系の保全や生物の多様性、バランスについて科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植生と遷移、生態系の保全や生物の多様性、バランスについて科学的に探求しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○			1
							合計 78